

# チャレンジ事業における 協働のポイントについて

金沢市市民活動サポートセンター  
所長・チーフコーディネーター 谷内博史

# 金沢市での協働って？

- 「いいねまちづくり協働ハンドブック」 (改訂令和4年3月)
- さまざまな組織や団体が、**共通の目的**を達成するために、**対等の立場**でお互いの特性を生かし、協力しあうこと
- 例えば、市民が行政に「実行力やアイデア」を提供し、行政は市民に「情報や資金や場」を提供する
- お互い対等な立場で補完・協力しあう  
「協働のまちづくり」  
→特に市民と行政の協働が強調されてきている

## 市民の領域

①

②

③

④

⑤

## 行政の領域

- ① **市民**が**主体的**に活動を行う領域
- ② **市民**が主となり、**行政**が**支援**する領域（後援・助成）
- ③ **行政**と**市民**が**対等**の責任で**協働**する領域（共催・実行委員会）
- ④ **行政**が主となり、**市民**が**支援**する領域（委託）
- ⑤ **行政**が**主体的**に活動を行う領域

## 社会の変化

- ・ 少子高齢化、人口減少
- ・ 個人の価値観やライフスタイルの変化
- ・ コロナ禍における新たな生活様式への対応
- ・ 新たな協働の担い手の活躍

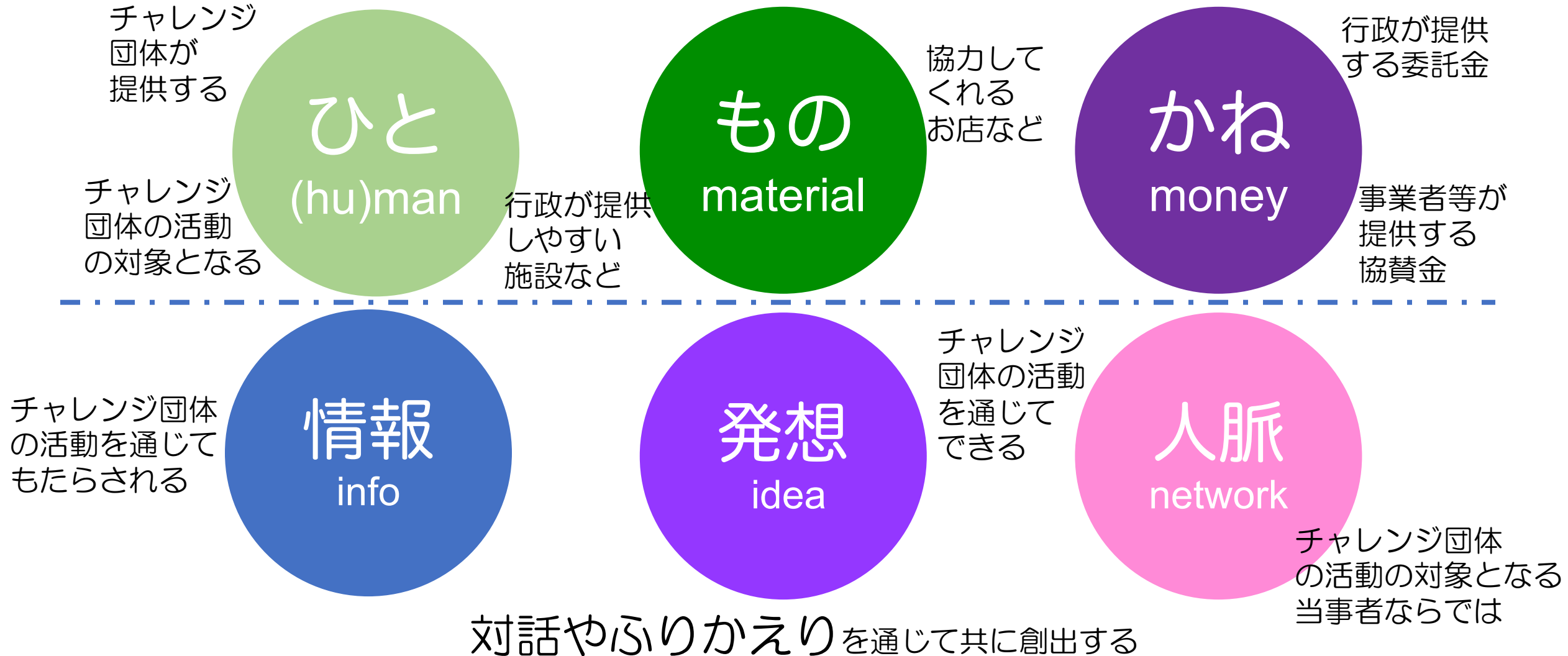
## 行政の変化

- ・ 財政悪化
- ・ 人的資源の不足
- ・ 直面する社会的課題の多様化、複雑化
- ・ デジタル技術の積極的活用



もっと多様な主体で  
パートナーシップを組んでいく！ へ

# 6つの「財」をチャレンジ事業で持ち寄る＝協働





	コミュニティ・NPO	行政（サポセン）
人	役員、スタッフ、 ボランティア	職員（コーディネーター）
物	資機材など	活動場所（資機材）
金	会費、寄付金、 事業収入、助成金など	委託費、補助金、負担金
情報	地域の情報、 専門的な情報、技能 独自ネットワークなど	専門情報、行政内部の情報 地域の活動情報など

# チャレンジ団体に考えてほしいこと①

## 1 現状の課題認識と解決手法を確認しよう

- ・ 解決したい課題とは何ですか？
- ・ 対象となる市民とはどんな人たちですか？
- ・ その市民のニーズはどのようなところにあると考えますか？
- ・ そのニーズはすでに明らかになっていますか？  
まだなら、どうやってニーズを把握できそうですか？
- ・ 課題解決はどんな手法（事業）で行いますか？  
その手法が唯一の手法ですか？もっといい打ち手は？
- ・ その解決手法には、あなたの団体のもつどんな強みが活かされているのですか？
- ・ 先駆性や独自性、工夫があるとすればそれはどんなこと？

# チャレンジ団体に考えてほしいこと②

## 2 協働の必要性と期待する相乗効果は？

- 協働の必要性はどんなところにあると考えていますか？
- 協働を繰り返すことで、どんな社会を目指していますか？  
例) ○○○が実現されている、XXXが当たり前の状態の社会
- 協働する相手（担当課や関係者）は、その社会づくりをしたいと考えていますか？
- $1 + 1 = 2$  では当たり前。 協働 = プラス  $\alpha$  の相乗効果も期待
- どんな相乗効果が出ると、あなたの団体も担当課も、対象となる市民もハッピーになるのでしょうか？



# チャレンジ団体に考えてほしいこと③

## 3 協働課との役割分担はどうしたら良い？

- 団体から提供できるコトやモノ、ヒトは？
- 金沢市担当課に提供してほしいコトやモノ、役割は？

- |             |                        |
|-------------|------------------------|
| ①企画（詳細）段階   | 情報（データ等）提供・アイデア提供・人脈提供 |
| ②告知・集客・広報段階 | ポータルサイト、市HPや施設での広報     |
| ③事業実施（当日）   | 担当課職員の参加？ 業務としての説明？    |
| ④中間段階での確認   | 事業後半の改善 視点の共有          |
| ⑤事業後（ふりかえり） | 来年はこうしていこう！            |

# 採択後に予定されていること＝評価

## 4 チャレンジ事業終了後の評価をどうしたいか

- ・ 事業の実施プロセスで協働ができたか→プロセス評価
- ・ 事業の実施の効果があったか→事業評価

あらかじめ設定した目標への達成度？

- ・ 団体&担当課の自己評価、相互評価 次への改善点の考案など

どんな成果ができるのでしょうか？

- ・ プロセスのPR、終了後の報告会、インターネットで報告の資料公表

# そうはいつでも・・・

- やってみて、わかることもたくさんあります！
- むしろ、気づきや発見、発掘をともに行うことの意味
- 自分たちが「やりたい」ことだけでなく、行政を含む関係者が「それ取り組みたいよね」ということはともに「何か」を見つけていく、学ぶ、変わる
- **まずは提案を書いてみよう！**
  - サポートセンターのコーディネーターも  
伴走支援をさせていただきます！